

## 2017年10月29日 野田建築50周年大同窓会を終えて

野田建築会会長 山崎晃弘

野田建築50周年記念事業にご協力いただきありがとうございました。  
とりわけ、開催当日の悪天候にもかかわらずご出席いただいた方には、大変感謝いたしております。

さて、野田建築会は理工学部建築学科と合同で野田建築50周年記念事業実行委員会に参画し、ホームカミングデー2017（校友祭）と同時開催となった理工学部創設50周年記念事業の一環として、記念誌発行をはじめ、記念デザインコンペや大同窓会懇親会などのイベントを2年ほど前から企画いたしました。

本年からは野田建築会部会としてホームカミングデー2017企画実行委員会に参加したことにより、ホームカミングデーの詳細な情報をもとに、大同窓会当日のイベントとして、13号館にて三分一博志氏（1992年卒初見研）による記念講演会と記念デザインコンペ表彰式、講義棟にて企業OB会展示会（7社）、コミュニケーション棟にて全卒業生写真展と大同窓会懇親会を実行いたしました。

当日は台風の影響もあり、ホームカミングデーの来場者は例年の6割（6000名）ほどでしたが、大同窓会懇親会は卒業生のほか来賓の旧教員を含め約320名の出席者で盛況のうちに終わることができました。

大同窓会にあたり、それぞれの参加者はそれぞれの心情で一堂にあつまり、恩師や旧友との再会、そして野田キャンパスの再見が叶ったのであれば幸いと思っております。

なお、野田建築50周年記念事業実行委員会を総括された永野正行教授と岩岡竜夫教授、それを支えた全ての助教の方々には心より感謝いたします。

加えて、多くの卒業生が実行委員としてこの記念事業に携わり、なかでも記念誌編集の有岡女史や小園女史、記念デザインコンペ企画の笠井氏、HP制作の廣瀬氏をはじめ、イベント実施や広報に尽力された涌井、栗飯原、高安、出塚、佐久間、五十嵐、菱崎、大野の野田建築会幹部諸氏には改めて謝意を表します。

最後に、50周年記念事業にご協力いただきました皆様には重ねて厚く御礼を申しあげるとともに、ますますのご健勝をお祈り申しあげます。

併せて、母校の今後さらなるご発展をお祈り申しあげます。

以上